

笑顔と心をつなぐネットワーク 明社通信

HEARTFUL

はーとふる

連載

『これからの明るい社会づくり運動・3つの方針』活動紹介

兵庫県・西兵庫明社

連載 未来を創造する子どもたち

第4回 貧困家庭の子どもたちに無料の学習塾を提供

被災地レポート「わすれない、いつまでも」

第7回 こころの問題を抱えた人を見つけ出す

ガイドブックが完成

連載

『これからの明るい社会づくり運動・3つの方針』

活動紹介

2014年11月に開催した『全国都道府県会議』では、本運動がこれから目指していく具体的な「3つの方針」が発表されました。

- 1 地域のために活動している諸団体と連携し一緒に活動を行い、身近な問題に取り組む市民運動として展開していく。
- 2 行政等の実施する地域活動や催事に積極的に参加し、行政との信頼関係を築いていく。
- 3 地域に合ったさまざまな活動をきっかけに、地域社会に貢献したいという願いをもった個人・団体へ積極的に呼びかけ、善意の実践の場を提供していく。

今号の明社

諸団体とともに、毎年、世界文化遺産の姫路城の清掃奉仕を行っている地区明社があります。兵庫県の明るい社会づくり運動西兵庫協議会（中崎始会長代行／以下、西兵庫明社）です。傘下地区組織の活動と併せて紹介します。

※次頁06は前回からの通し番号です。



三の丸広場の芝生植栽にも参加協力

06
兵庫県

明るい社会づくり運動
西兵庫協議会

姫路愛城会に参加協力

西兵庫明社は1982年の発足以来、姫路愛城会に団体登録し、その活動に参加協力しています。姫路愛城会は、小学・中学・高校及び各種団体43団体で構成され、学習と実践を通して、姫路城に関する知識と理解を深めるとともに、積極的な文化財愛護の奉仕作業により文化財愛護精神の涵養と文化財の保護をはかることを目的に1966年に設立。以来、毎年2回、夏と冬に姫路城の清掃奉仕を行っています。

姫路愛城会理事長で、姫路市立姫路高等学校の松田克彦校長と西兵庫明社の中崎会長代行に、これまでの成果と今後の抱負をお聞きしました。

姫路愛城会理事長 松田克彦さん

大天守保存修理事業を完了し、昨年3月にランドオープンした姫路城の祝賀行事の一環として、三の丸広場の芝生化を行いました。芝生の苗を市民自らが植えることにより、姫路城はもちろん城周辺にも愛着を持ってもらうことが目的です。

6月21日に実施された芝生の植栽には、21団体から1,253人の方にご参加いただき、石見利勝姫路市長にもご出席いただきました。ポットに入った苗を地面に穴を掘り、縦に90人並び等間隔に植えていきます。はじめは息が合わず、なかなか前に進みませんでしたが、時間が経つにつれ慣れ、3時間で三の丸広場の北半分は芝生を植えることができました。来年度は、南半分を同じ時期に実施する予定です。

西兵庫明社さんには、毎回出席していただき、今回も40人の方にご参加いただきました。姫路の児童生徒の模範になる奉仕作業をしていただき、感謝しております。これからも末永く愛城会に参加していただき、我々の活動を支えていただきたいと思います。

ランドオープン後、姫路を訪れる観光客は急増しています。城門を入ってすぐの三の丸広場は、東京ドームのランドと同じ広さです。この広場が市民の手により芝生化され、姫路城はより一層、皆さまに愛されるものになると考えております。

西兵庫明社会長代行 中崎 始さん

1993年、日本で初めてユネスコ世界文化遺産に登録された国宝・姫路城は、その400年の歴史の中で、一度も戦火に見舞われることなく、「不戦・不燃の城」と呼ばれ、青空に映えるその姿は、飛び立つ白鷺に例えられ「白鷺城」とも称されています。

毎回、小中高生と一緒に清掃奉仕に取り組

み、市民としての連帯感を強くしています。先祖から与えていただいた国宝を守り、市民の郷土を愛する心を育てたいと思います。

8つの地区も活発に活動

西兵庫明社は、包括エリアに、8つの地区組織を擁しています。愛城会の活動や東日本大震災被災者支援活動には全地区が参加しますが、通常は各地区ごとに活動を行っています。地域の諸団体と協働する地区活動を紹介いたします。

① 姫路南地区

月2回「勝原老人ホーム」を訪問し、交流活動。利用者を行楽にも連れて行き、同ホームからはとても喜ばれています。また、有名なお寺「龍門寺」の境内の清掃を、毎月16日に行っています。

② 姫路北地区

月1回、福祉施設「もちの木園」を訪問して交流しています。また、チャリティカラオケ大会では会員の親睦を図っています。

③ 加古川地区

「加古川市花火大会」の翌朝に実施される「加古川河川敷周辺クリーンキャンペーン」に、毎年、参加協力しています。

④ 加西地区

ほぼ毎月、家庭教育と



毎年4月29日の「みどりの美化キャンペーン」には31団体が参加

病院ボランティアを実施。加西市の事業である廃食用油の回収にも協力。同市ではバイオディーゼル燃料や薬用ハンドソープの原料として有効活用しています。特別養護老人ホーム「加西の里」利用者の年賀状と書中見舞いの代筆も行っています。

各地区の活動について、亀田孝次事務局長にお聞きしました。

毎年5月下旬に開催する西兵庫明社の総会では、各地区の活動報告と計画を発表していただいています。各地区の活動は、バラエティーに富んでいますが、目指す方向はみな同じです。これからも「3つの方針」に沿った社会奉仕活動に取り組みたいと思います。